原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年6月1日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎　記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

＜本日の報告事項＞

○司会　それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長　それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目、2.6月5日火曜日、（1）の審査会合についてでございます。こちらは特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開にて開催をさせていただきます。内容でございますが、関西電力・美浜発電所3号炉の特定重大事故等対処施設に係る審査を予定してございます。

次に、その下、（2）、同日午後の審査会合でございます。こちらは、内容といたしまして、日本原電・東海第二原子力発電所運転期間延長認可に係る審査の予定でございます。内容といたしましては、これまでの論点につきましてのコメント回答、また、特別点検、追加分でございますが、その結果の報告と、それを踏まえた劣化状況の評価につきまして、説明を聴取することを予定してございます。

次に、2ページ目、6月7日木曜日、（5）の審査会合でございます。こちらも特重施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。議題といたしましては、九州電力・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉の審査を予定してございます。

なお、（6）の同日午後の審査会合につきましては、議題の詳細はまだ未定でございます。

次に、同じく2ページ目中段、6月8日金曜日、（7）の審査会合でございます。こちらもやはり特重施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。議題は、記載にございますとおり、関西電力・美浜発電所3号炉に係る審査を予定してございます。美浜3号炉の審査のうち、地震の関係についての審査をこの審査会合で行うという予定でございます。

なお、同日午後の（8）の審査会合につきましては、こちらの議題の詳細、まだ調整中でございます。判明しましたら御報告をさせていただきます。

最後に、3ページ目、「3.委員の現地調査」でございます。6月7日木曜日に、田中知委員ほかが日本原燃株式会社再処理施設の現地調査を行う予定でございます。こちらは新規制基準適合性に係る現地調査ということでございます。重大事故等対処施設の設計工

事の状況、その他の設備の安全対策の状況、また、安全管理体制の改善への取り組みなどについて、現地にて確認を行うことを予定しております。

私からの御説明は以上です。

＜質疑応答＞

○司会　皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。フジオカさん。

○記者　NHKのフジオカといいます。

委員の現地視察についてお伺いします。7日の田中委員の日本原燃の再処理施設の視察なのですけれども、狙いについて、改めて御説明いただいてもいいですか。

○大熊総務課長　こちらは日本原燃再処理施設の視察ということでございますが、こちらは御案内のとおり、今、新規制基準適合性に関する審査が再開されて進んでいるところでございます。その審査の一環ということで、こちらの施設の設備及び管理状況を含めて、幅広く現地を確認するということを目的に行う調査ということでございます。現地で確認する対象としては、かなり幅広くいろいろな施設の状況を確認するということと、あわせまして、安全管理体制の問題が俎上に上ったといいますか、問題になったということも踏まえまして、ソフト面についても、現地にて可能な確認を行ってくるということを予定しております。

○記者　分かりました。

視察の中で社員の方への聞き取りというのも含まれていたと思うのですけれども、ここについてはどのようなことをお聞きになられるのですか。

○大熊総務課長　今申し上げたことと重なりますけれども、現地での様々な設備の管理がしっかりしていなかったという問題があったということを受けて、そうした管理体制の強化が発揮できているかということを確認する観点で職員にインタビューを行うということを、今御指摘があったとおり、予定しているところです。具体的な質問の内容等は、現地で委員からということで、決まっているものはございませんけれども、観点としてはそういう観点からの調査ということになります。

○司会　ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

－了－